

育苗センター作業最盛期



▲出芽苗が並ぶ育苗ハウス

両新田のJA越後おぢや育苗センターでは、4月10日(日)より播種を開始し、15日(金)から出芽苗を育苗ハウス内に並べはじめました。種籾は、3月に温湯消毒施設で温湯消毒処理を行ったものです。

例年は、除雪機等で除雪を行うとハウスを破損させてしまったため、職員総出でハウス用地をスコップで除雪しており、春の恒例作業となっていました。今年は少雪のため、残雪の影響等もなく、出芽苗のハウスへの移動は予定通りに行われ、27棟のハウスに出芽苗が並びました。

出芽苗の各組合・農家への出荷は4月15日(金)から始まっており、約76,000箱を予定しています。なお、硬化苗の出荷については、こしいぶき、こがねもちは5月5日(木)から、コシヒカリは5月10日(火)から合計85,000箱を予定しています。

ごみ拾いで地域貢献



▲ごみ拾いを行うJA職員

4月2日(土)、当JAの全6支店は、支店活動強化の一環として81人の職員が参加し歩道のごみ拾いを行いました。拾ったごみはごみ袋約64袋で、昨年同時期に実施した際は約70袋分、年々減少しており継続して実施している効果が表れています。

当JAでは、「より利用しやすい支店」を目指し、支店活動を強化しています。

決意新たに



▲決意を述べる新入職員

4月1日(金)、当JA本店で新入職員辞令交付式を行いました。

谷口熊一組合長は新入職員6人に1人ずつ辞令を手渡しました。

新入職員を代表して片貝中央支店共済課配属の村山貴昭が「早く仕事を覚え、皆様のお役にたちたいと思います」と決意を表明しました。

部員増加目指す [JA青年部]



▲活動報告等を聞く参加者

4月6日(水)、JA青年部は、グリーンパークで通常総会を開きました。青年部盟友やJA関係者ら44人が出席。平成27年度活動報告・平成28年度活動計画・役員改選などが承認され、新役員として坪野の郷均さんから4名が選ばれました。

新年度は各種イベント等に積極的に参加し、青年部員の増加を目指します。

YouTubeで企業紹介



▲当JAを紹介する組合長



上のQRコードを携帯電話等で読み込んでいただくと動画が掲載されている当JAホームページをご覧いただけます。
JA越後おぢやホームページ
<http://www.ja-e-ojya.jp/>

当JAでは大学進学等で市外に転出したU・ターソン就職を目指す学生等へ、当JAへの理解を深めてもらうため、小千谷市などと協力し企業紹介動画を配信しています。ぜひご覧ください。

初せりスタート



▶白熱する錦鯉市場

4月8日(金)、南荷頃のJA錦鯉市場で、今年の初せりを行い、錦鯉の取引をスタートさせました。

手締めで開場を祝うと、威勢のよいせり人の声が響き渡りました。

出荷舟数は230舟と、昨年を49舟上回り、1舟が3万5千円の値を付け、この日の最高価格で取引されました。

ラジオCM放送中

[FM新潟]



▲サンプルで公開放送中

FM新潟で毎週金曜日12時から放送されているラジオ番組「おぢやファンファンCHANNEL」内で、当JAの農産物のPRを行っています。

また、小千谷に関わる方々のインタビュコーナーを聞くことができるポッドキャストも配信されています。番組と合わせてご視聴してください。

踊りにうっとり

[JA女性部]



▲舞台上で記念撮影

2月13日～14日、当JA女性部三仏生支部は田ノ浦温泉「海華亭かわい」で親睦会を開催しました。夜は宴会で盛り上がり、翌日はお目当ての劇団「暁」のお芝居と踊りにうっとり。小千谷産の「コシヒカリ」30kgを役者さんへ贈呈し、特別に舞台上で記念写真を撮ることができました。体も心も元気に家路に着きました。

新病院と連携し活動強化へ

[たんぼぼの会]



▲あいさつをする杵刈会長

4月8日(金)、JAのしあわせ組織「たんぼぼの会」は、グリーンパークで総会を開きました。会員やJA関係者ら43人が出席し、平成28年度活動計画などを承認しました。同会の杵刈カズ工会長は「平成29年開業予定の新病院でお手伝いが出来れば、病院と調整していきます」とあいさつしました。

魚沼病院よりお知らせ

訪問看護師としての傾聴

JA新潟厚生連 魚沼病院
訪問看護ステーション うおぬま

長屋 伸江

訪問看護ではケアのアドバイスや知識、判断を求められることもありますが、それに伴って生じる悩みや葛藤を受け止める場面が多いと感じます。在宅に戻れば優先されるのは「日常生活」です。それまでの生活習慣や価値観、利用者様を取り巻く人間関係などと療養の間で折り合いを付けていけるように導く事が大切です。また、高齢世帯、独居生活では他者との交流が減る方も多く、訪問看護では傾聴を大切にしています。

傾聴により、相手は自分が尊重されていると感じ、自信を持つ事ができる、心のわだかまりを発散できる。自分が置かれている状況を理解し、自分の気持ち

ちや考えを整理できる。自分がどうしたらよいか考えられる。嫌な感情や場面にも直面できるようになる。などの効果があります。オウム返し等の傾聴法もありますが、むしろ技術よりも人としての関わり方を大切に考えています。傾聴するだけでは一方通行です。利用者様との間で普通のコミュニケーション、会話のキャッチボールを行えることが大切だと思います。

また、共感が大切といっても簡単に共感できるものばかりではありません。「分かってあげたい気持ち」を伝えたい、ただ、わからない事は分からないで仕方がありません。共感したつもりになるより、わからない事でもできるだけわかってもらう姿勢、理解できていない事を自覚した上でしっかり利用者様に関わっていくこととする努力、そういった正直な誠実さの方が大事ではないかと考えています。